

様式 4

<p style="text-align: center;">令和 4 年度第 1 回 富士見市教育振興基本計画審議会 議事録</p>						
日 時	令和 4 年 7 月 2 0 日 (水)		開会	午後 7 時 0 0 分		
			閉会	午後 8 時 5 0 分		
場 所	富士見市役所 1 階 全員協議会室					
出席者	委 員	長堀会長	高橋副会長	富士委員	小林委員	石川委員
		○	○	○	○	欠
		秋元委員	八木橋委員	金子委員	坂田委員	小栗委員
		○	○	○	○	○
	アドバイザー	太田氏、田中氏、三浦氏				
事務局	教育部 小林学校統括監、磯谷教育部長事務代理 教育政策課 中島課長、池上副課長、平田主査					
公開・非公開	公開 (傍聴者 0 人)					
議 題	<p>○委嘱状交付</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 教育長あいさつ 3 委員等紹介 4 会長及び副会長の選出 5 諮問 6 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第 3 次富士見市教育振興基本計画策定方針について (2) 策定スケジュールについて (3) その他 7 閉会 					

議 事 内 容 (要 旨)

1 開会 教育政策課副課長

2 教育長あいさつ 教育長

3 委員等紹介 各委員

4 会長及び副会長の選出
互選の結果、会長は長堀委員、副会長は高橋委員に決定

5 諮問
教育長より、長堀会長に諮問

6 議題

会 長 (1) 第3次富士見市教育振興基本計画策定方針について、事務局から説明を求める。

事務局 (資料に基づき説明)

会 長 事務局からの説明を踏まえ、質疑等があればお願いしたい。

(質疑等なし)

会 長 (2) 策定スケジュールについて、説明を求める。

事務局 (資料に基づき説明)

(質疑等なし)

会 長 (3) その他について、説明を求める。

事務局 本格的な検討は、次回会議以降だが、今後の参考とするため、教育に関するご意見等をいただきたい。

公民館を中心として、地域コミュニティの活性化を図るためには、どのようなことが必要であるか。

委 員 公民館事業等については、市ホームページや広報等で周知を図っているが、知らない人が多いと感じる。様々な世代にどう周知するかが課題である。

委員 公民館等の事業については、子どもが取組みに参加することにより、保護者の関わりが期待できるため、子どもが興味・関心を持てる活動を強化することもよいと思う。

委員 地域における需要と供給を「つなぐ」人材が必要である。

事務局 P T A活動や地域こども教室等への参画を通じて、お気づきの点はあるか。

委員 就業する保護者が増えたことから、各活動における担い手不足が問題点として挙げられる。

委員 保護者に事業への参加・協力を求める場合には、働いている人が日程調整できるよう、早めに周知や声かけをした方がよい。

委員 コロナ禍において、表面的には元気に見える子どもたちについて、心・内面など目に見えない部分への心配りが必要である。また、学校の先生についても、新型コロナウイルス感染症の対策等が求められ、多忙を極めていることから、働き方改革など、教職員の健康を大切にする取組みが必要である。

委員 雑巾の絞り方を知らない子どもがいる。家庭教育の範疇ではあるが、家庭だけではなく、幼少期から保育園や幼稚園等で学べる機会を持てると良い。未就学期から、小学校、中学校へとつながる取組みが持てるとよい。

委員 子どもと一緒に事業に参加した保護者が、その後も様々な活動に積極的に関与している事例がある。保護者の中には、様々な資格や特技を持っている方がいる。時間はかかると思うが、保護者が特技等を活用しながら主体的に楽しく参加できる環境づくりや関係づくりが重要である。

委員 保護者が、改めて相談するほどのことではないが、誰かに聞いてみたいことなど、ちょっとした相談ができる環境があるとよい。保護者のつながりが増えると、子どもへの目配りが深まり、子どもの変化に気づきやすくなると思う。公民館が子どもや保護者に開かれた空間になるとよい。

アドバイザー 子どもたちや保護者同士のつながりについては、デジタルを活用した仕組みづくりがありうる。様々な価値観や課題に対応するためのツールとして、I C Tの活用が考えられる。

アドバイザー 子どもを中心とした活動は富士見市の特色であり、今後も大切にすべき点である。既存の仕組みでは解決できない点については、柔軟に仕組みを変えることで、子どもも大人も楽しめる取組みができると良い。

閉 会 副会長